**報告書**

|  |  |
| --- | --- |
| クラス番号 | R4SA01 |
| 氏名 | 青木宇宙 |
| 提出日 | 2021/07/25 |
| 期間 | 2021/07/19 ~ 2021/07/25 |

**研究テーマ：**

●既存のタスク管理アプリはビジネス向け・個人向けのみで学生に特化したものは存在しない。

●コロナウイルス蔓延による遠隔授業・オンライン就活が重なった私たちの世代は、学校からの連絡（課題）・企業からの連絡がメールに集中し、潜在タスク・優先順位の管理が大変で不便に感じる場面が多々あった。

以上2点から学校(講師)とのやり取りに特化した学生向けのタスクの管理（主に可視化）をテーマとし卒業研究とする。

〇概要

既存アプリを対象とし方式ごと（カレンダー方式・ToDoリスト方式）にタスクの可視化（表示方法のみでなく入力方法・独自機能・入力項目・カラーバリエーション等）方法を調べ調査レポートにまとめる。(データ1)(データ2)

若者向けに当てられた研究内容(色・フォント・感じ方・アプリの使用(場所・頻度)など)を調べ、根拠を集める。根拠をもとに仮説を立てる。(データ3)

データ3をもとに、実際にアプリを作成し、データ1とデータ2との比較と評価を行い、研究成果とする。（現状、学生観点のタスク管理方法についてのデータが存在しないため研究として成り立つという考え方）

**確認事項**：

１．個人の作業内容（今週・来週・現在の工程）

２．現状の問題点

３．問題点に対する対策

４．メンバーの作業内容

５．メンバーの進捗

６．全体のスケジュール（メンバーの現在の工程・年間）

７．全体の進捗

８．来週の予定（メンバー・チーム）

９．現状の問題点（メンバー・チーム）

１０．問題点に対する対策（メンバー・チーム）

**１．個人の作業内容（今週・来週・現在の工程）**

今週

設計書作成

今後についての会議

来週

設計書作成

曖昧な要素を消す

現在の工程

設計書作成中

**２．現状の問題点**

設計書を書いていく中で、足りない部分などの不安要素と確定情報が少ない

**３．問題点に対する対策**

不安となる部分だけでテストケースを作り、不安要素をなくす

**４．メンバーの作業内容**

清さん

・論文資料と今後の方針についての会議

長井さん

・論文資料と今後の方針についての会議

渡部くん

・設計書作成

・論文資料と今後の方針についての会議

澤野くん

・画面レイアウトに必要な調査資料集め

・論文資料と今後の方針についての会議

**５．メンバーの進捗**

レイアウトを作成してもらうのですが、うまく調べた内容を反映できるかが大きな問題になる可能性が高いです。論文の選定と機能の絞り込みが必要

**６．全体のスケジュール（メンバーの現在の工程・年間）**

メンバーの現在の工程

集めた資料とアプリの機能についての絞り込み

年間

調査　→　研究　→　アプリ作成　→　評価　→　結論

**７．全体の進捗**

完成（発表できる状態）が100％とすると、まだ5８％ほどだと感じます。

論文と機能の絞り込みを的確に行う。

**８．来週の予定（メンバー・チーム）**

メンバー

論文と機能の絞り込み

チーム

レビューで指摘された不確定要素をなくす

**９．現状の問題点（メンバー・チーム）**

メンバー

メンバーの問題点はありません。

チーム全体

スケジュール通りに進まないことが多かったので、後期でもずれた場合が不安になる。

**１０．問題点に対する対策（メンバー・チーム）**

メンバー

問題なさそうです。

チーム

他のチームが行っていた、最悪のケースの場合を想定しておく